**国連CEFACT標準準拠メッセージ策定支援サービス**

国連CEFACT共通辞書（CCL: Core Component Library）をベースとし、国連CEFACTメッセージ構築ガイド（Message Construction Guideline for CCBDA）に則ったEDIメッセージの設計、XMLスキーマの生成を支援し、定義メッセージのスキーマ名前空間名の割り当てを行う。



（注１）各サービスは一括して提供することも、一部の組合せまたは個別に提供することも可能。

（注２）本サービスは、SIPS正会員には無償で提供される。

1. 国内業界対応メッセージ表（BIE表）策定サービス

国連CEFACT標準に準拠する新たな業務領域メッセージを設計する場合、当該新メッセージが既に登録されている国連CEFACT標準BRS（業務要件仕様書）に基づくメッセージのサブセットであるか否かを確認する必要がある。

策定しようとする業務領域メッセージが、既存の国連CEFACT標準BRSでカバーされていない場合は、国連CEFACTに新メッセージを定義するための国際プロジェクトを提案することになる。この場合は、国連CEFACTが定める開発手順（ODP：Open Development Process）に従って国連CEFACTの場ですすめられ、国内業界対応メッセージ表（BIE表）策定サービスの範囲外である。

国内業界対応メッセージ表（BIE表）策定サービスは、国連CEFACT標準BRS（業務要件仕様書）に基づいたメッセージを参照して必要なBIEを切り出し、必要であれば追加のBIEを定義して国連CEFACT共通辞書メインテナンス要求を行う。

　国内業界対応メッセージ表（BIE表）策定サービスを受けるにあたっては、対応する業務プロセス、メッセージに必要なデータ定義、及びコード表を用意する。SIPSでは、それら資料に基き、SIPSが規定するメッセージBIE表を作成し、SIPSが用意するバリデーション・ツールで技術的検証を行う。

　メッセージBIE表の仕様はJEC発行の「業界横断EDI仕様技術審査要領」を参照のこと。

1. 国連CEFACT共通辞書メインテナンス要求提案サービス

　国連CEFACT共通辞書に追加したいBIEについては、国連CEFACT発行の「CCL\_Submission\_Template\_v3p20」に規定したサブミッションシートに記載し、国連CEFACTに提出する。

SIPSはBIE追加／変更要求に提案番号（Unique submitter CR ID）を附番して管理する。SIPSはサブミッションシートの作成を行い、JEC登録技術審査グループによる審査の後、国連CEFACTライブラリーメインテナンスチームに提出し、ハーモナイゼーション審議に参加する。

1. 国連CEFACT標準準拠コード登録サービス

JEC発行の「国連CEFACT標準準拠コード及びコード表の管理手順」に従った国連CEFACT標準コード表への追加、及びJECがコード管理機関となる国内コード表の登録を支援する。

1. メッセージ定義からXMLスキーマ生成サービス

JEC発行の「業界横断EDI仕様技術審査要領」に規定されたメッセージBIE表（EXCELシート）で定義された業務領域メッセージ表より、SIPSで用意するツールによりXMLスキーマを生成する。当該ツールでは、メッセージBIE表のバリデーション、メッセージクラス図の作成及びXMLスキーマの生成を行うことができる。

1. 定義メッセージに対する名前空間名提供サービス

　生成された業務領域メッセージのXMLスキーマで使用する、ユニークな名前空間名を提供する。